

学校応援プロジェクト 2022 年度活動報告

中央大学附属中学校進路・キャリア学習プロジェクト

9月10日（土）、中央大学附属中学校の3年生・5クラスのみなさんを多摩キャンパスに迎え、中央大学と附属校の教育連携プログラム×学校応援プロジェクト企画第二弾「大学でなぜ学ぶの？」を実施しました。この企画は、中学校 3 年生に「大学で学ぶということ」について具体的なイメージをもってもらい、進学や将来のキャリア形成について考える入口とすることを目的としています。

今回のプロジェクトは、朝 10 時スタートから夕方までほぼ丸 1 日のロングバージョンです。これまでの学校応援プロジェクトとしての経験をベースに、生徒のみなさんに楽しんでもらえるよう企画しました。

次の5つのプログラムを通じて大学生と交流し、大学案内誌や通常のガイダンスでは知ることができない「大学」の姿を知ってもらう・実感してもらうことをめざしました。

【当日の内容】

- ①「大学」「大学での学び」についてのガイダンス
- ②アイスブレイク（ミニゲーム）
- ③キャンパスツアー
* 昼休憩中にキャンパスツアームービー上映
- ④大学生による模擬授業
- ⑤班単位の進路、キャリアに関する懇談・相談



「大学」「大学での学び」についてのガイダンスは、Forest Gateway CHUO のホールにて行いました。「大学で学んで何のため？なんで大学に行く必要があるんだろう？」というところからスタートし、中央大学の各学部の特徴を時間割や学生の生の声を交えながら紹介していきます。中附の卒業生である学生がメインの説明役を務めたこともあり、生徒のみなさんにとっては親しみやすかったようです。

続いては、3号館の教室にクラスごとに移動し、アイスブレイクです。このあとのキャンパスツアー、午後の進路・キャリア相談は班ごとに分かれ、大学生と一緒に活動することとなります。緊張をほぐし、積極的に会話しやすくするために大学生と中学生と一緒に楽しめるミニゲームを行います。今回のゲームは「ワードウルフ」。みんなであるお題について制限時間内に雑談をして、その雑談の中で「みんなとは違ってお題」を与えられた少数派の人を見つけ出すゲームです。ゲームがスタートすると、それまでの緊張した顔はどこへやら…あちこちで笑顔がみられるようになりました。生徒のみなさんだけでなく、学校応援プロジェクトに初めて参加した学生メンバー達にとっても「アイスブレイク」の時間となりました。

まだもうちょっとやりたい・・・というところで、班ごとにキャンパスツアーに出発です。広いキャンパスを全部回りきることは無理なので、事前に用意した「中大生定番コース」「運動場見学コース」「アリーナ見学コース」「Forest Gateway プラン」の4つのコースから行きたいところを選んでもらい、一緒にゲームをした学生が案内します。夏休み期間中ということもあり、建物の外観の見学が中心となりましたが、大学ならではの雰囲気は充分感じてもらったようです。さらに、ツアー後のお弁当タイムでは、学校応援プロジェクト作成のキャンパスツアームービーを上映。今日のツアーでは入れなかった中央図書館や学食内部、後楽園キャンパス、市ヶ谷キャンパスも見させていただきました。



午後は、学生による模擬授業です。「関心のある授業を選ぶ」「授業ごとに教室を移動して違うメンバーで授業を受ける」その体験も、大学を体感するプログラムの一部です。様々な学部の大学生が、自分が普段大学で学んでいること等をベースに「警察？探偵？ストーカー？～SNSでユーザー観察～」「もしもタイムスリップしたら？文明誕生をシュミレーションしてみよう」「Please tell us good points of your school!」など、中学生にも関心をもって参加してもらえるような講座を14講座用意しました。グループワークを取り入れたり、タブレット端末や学生自作のワークシートを用いた活動を行ったりと様々な工夫が凝らされており、授業時間の45分はあっという間だったようです。休憩をはさんで2コマの授業に参加してもらいましたが、教室移動の際に授業を担当した学生に「楽しかったです！」と感想を伝えてくれたり、うれしい風景があちこちで見られました。

最後は、再度クラス別の教室に分かれ、班で行う進路やキャリアに関する懇談・相談です。生徒のみなさんもすっかりうちとけ、どこの教室でも最初から楽しそうに会話が弾んでいました。プログラム終了後は、担任の先生方のお声がけで学生もクラス集合写真に加わらせていただきました。慣れない場所で長時間にわたるプログラムでしたが、生徒のみなさんは最後まで元気いっぱい、「ありがとうございました！」「またねー！」と笑顔で手を振って帰っていく様子を見て、プロジェクトのメンバー一同、とてもうれしかったです。

終了後のアンケートでも、「今回中央大学を訪れたことでより中央大学に興味を持つことができたし、行きたいなと思える学部ができたのでとても嬉しいです。とても大学に行くのが楽しみになりました！」「来る前は大学とはどんなところかすごくあやふやでわからなかったのですが、実際見て回ったり、先輩たちの話を聞けたりしたことで、とても楽しく、やりたいことができる場所が大学なのだと学ぶことができました。」という声、そして、「楽しかったです！」というたくさんの声が寄せられました。

今回のプロジェクトがスタートしたのは6月下旬。大規模かつ一日がかりのプロジェクトとなるため、約40名の学生が参加し、全体ガイダンス、アイスブレイク、キャンパスツアー等の担当に分かれ、準備を行いました。特に、模擬授業を担当したメンバーは学校現場の経験のある教員のアドバイス・指導を受けながら夏休み中も授業案のブラッシュアップや授業練習を重ねてきました。

